



PRESENT



道のりは自由

おはようございます、こんにちは、あるいはこんばんは！ 英語科の西郷です。

先月23日にブラジルで行われた新体操の世界選手権で、日本代表「フェアリージャパン」が団体総合で初優勝を果たしました。長い歴史の中であと一歩に涙をのんできた種目ですが、ついに悲願を達成したのです。演技を支えたのは、選手一人ひとりの努力はもちろん、同じ方向を向いて練習を積み重ねてきたチーム全体の結果でした。

団体演技では、リボンやフープ、ボール、クラブといった手具を交換する場面があります。会場が一番盛り上がりを見せるシーンですが、華やかな技の裏には膨大な練習が欠かせません。今では技と技を重ね、連続させることが当たり前になっています。だからこそ、誰か一人でも気持ちが合わなければ歯車がかみ合わず、成功は遠ざかってしまうのです。

実は、私も学生の頃に新体操をしていました。団体演技のときは「ミスをしない」ことばかり考えていましたが、そのような中では大きな成功は生まれませんでした。けれど、本番に向けて自分の思いを仲間に伝え続けるうちに、少しずつみんなの気持ちが重なり合い、自然と息が揃っていきました。その結果、多少のミスがあっても演技全体は生き生きと輝き、成功へ近づいていきました。

この経験は、普段の生活にも通じると感じています。個人の頑張り方は人それぞれで自由でいい。でも、集団で取り組むときに力の向きがばらばらでは、楽しさも成果も半減します。最終的な目標に向かって心をそろえること…それこそが仲間と過ごす中で得られる大きな力だと思います。

これから行事が続きます。楽しいものにできるかどうか、どんな経験を積むかは自分次第です！

最後まで読んでくれてありがとうございます！

